

めあて

文章を正しく読み取ろう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「1 私がたびたび失敗したのは、自分がしゃべり過ぎることでした。何とか話を成立させようとして、相手に乗ってこない、焦らしてしまいいつとなく何かしゃべらなければ」と考えて、こちらから一方的に話してしまうのです。でも、これでは会話のキャッチボールにはなりません。

「2 むしろ、ひたすら「聞き手」に徹することが大事なのだ、ということに気づいたのは、ずっと後になってからのことでした。」

「3 ある人と、一対一で長い時間、いい気持ちになつて話すことができるとき、後で考えてみると、自分だけがひたすら話していた、ということに気づくことがありますが、過去の失敗や成功を、面白おかしく話した、という体験もあります。」

「4 こんなとき、私の相手は、ひたすら聞き役に回っていました。しかし、ただ黙って聞いていたわけではありませんでした。ひたすらうしろにただけどもありませんでした。適度に相づちをうち、驚いたり笑ったりして、相手の反応に気をよくして、思わずしゃべり続けていたのです。こうした相手の反応に気がよくして、思わずしゃべり続けていたのです。こうして相手は、「あなたの話はとっても面白いです」といって、話していただくのです。」

「5 人間は、自分に関心を寄せてくれる人に好意を持つものです。自分に関心をもち、さまざまな質問を投げかけてくれると、ついついしゃべってしまいます。」

「6 人は、自分の話を一生懸命聞いてくれる人が好きになるものなのです。電車の中など、恋人同士の話が聞かなくて、相手の目を見ても、一生懸命聞いていないと、もう一方が、楽しそうに話し続けています。これぞ、会話の楽しさです。」

(中 略)

「8 自分から話しかけないと会話は始まらないかもしれませんが、話を続けるには、相手の言うことをよく聞くことが必要です。相手の話を聞かなければ、会話は成立しません。会話のキャッチボールをうまく続けるには、まず相手の投げたボールを、きちんとキャッチすることから始めなければなりません。きちゃんとキャッチすることから始めなければなりません。きちゃんとキャッチすることから始めなければなりません。」

「9 「聞き上手は話し上手」とよく言われますが、まったくその通りです。」

(相手に「伝わる」話し方 池上 彰より)

学年

3 年

教科

国語

名前

「この文章の段落相互の関係について説明したものとして最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選び、記号で答えよ。」

進路・夢の実現に向けて、この一問をクリアしよう！

ア ③段落は、①段落で説明された内容に対して、具体的な体験が述べられている。

イ ③段落は、②段落で説明された内容を受けて、明らかになる事柄とその例が述べられている。

ウ ⑤段落は、④段落で説明された内容に対して、否定的な意見が述べられている。

エ ⑨段落は、⑧段落で説明された内容を受けて、新たな疑問について述べられている。

二 書かれている内容の説明として最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア ①会話を成立させるためには、話し手が「とにかく何かをしゃべる」ことで、相手の興味を引くことが大切である。

イ ②会話を成立させるためには、話し手が長い時間いい気持ちで話せるように、聞き手が黙って聞き役に回ることである。

ウ ③会話を成立させるためには、「聞き上手は話し上手」というように、まず相手の言うことをよく聞くことが大切である。

エ ④会話を成立させるためには、自分に関心を寄せてくれる人と、楽しく話そうという意識を持つことが大切である。

三 あなたの「会話がうまく成立した体験」あるいは「会話がうまく成立しなかった体験」を述べ、「その体験を通してあなたが考えたこと」を具体的に書け。

三 あなたの「会話がうまく成立した体験」あるいは「会話がうまく成立しなかった体験」を述べ、「その体験を通してあなたが考えたこと」を具体的に書け。

三 あなたの「会話がうまく成立した体験」あるいは「会話がうまく成立しなかった体験」を述べ、「その体験を通してあなたが考えたこと」を具体的に書け。

一

二

三

振り返り